

身近なスミレを観察してみよう

著者 一日一種
(イラストレーター
・漫画家)

春はスミレの季節

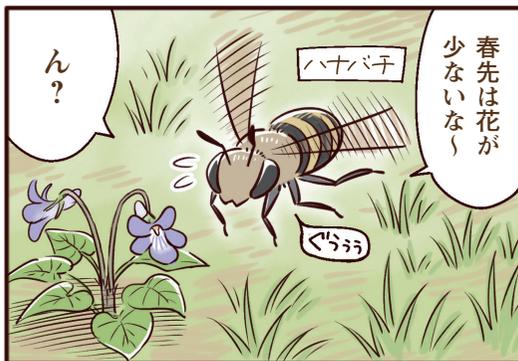
まだ花が少ない早春、寂しい林床にスミレ類は彩りを与えてくれます。意外と種類が多く、咲く時期もちょっとずつ違うので、春の間はずっと楽しめるグループです



「距」の部分すまいを墨入れに見立ててスミレの名前が付いたという説がある



【墨入れ】大工さんが墨を入れるのに使う道具



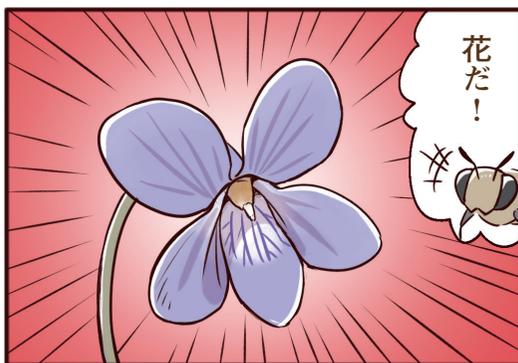
街中でもよく観られるスミレ類

スミレは街中でも意外と観られます。小さい花なので気づきにくいですが、公園や空き地、舗装の隙間、植え込みなど身近な場所で探してみましょう



タチツボスミレ

街から山野まで最もよく観られるスミレ。花はうすい紫色。葉はハート型。茎（地下茎）から花柄を伸ばす



スミレ

いわゆるただのスミレ。意外と街でよく観られる。花は濃い紫、葉は長い三角形。根元から花柄を伸ばす



ノジスミレ

毛が多いため、砂がよく付いている。花の色は個体差が大きい。葉はスミレほど立たず、少しよれよれになっている

